

近年の梅雨入りと梅雨明け

	梅雨入り	梅雨明け
平年	6月07日	7月19日
2025年	5月22日	6月28日
速報値	6月10日	7月18日
2024年	6月21日	7月18日
2023年	6月08日	7月22日
2022年	6月06日	7月23日
2021年	6月14日	7月16日
2020年	6月11日	8月01日
2019年	6月07日	7月24日

梅雨明けが20日早くなりました。

梅雨入り

5月22日

梅雨明け

6月28日（最も早い）

気象庁は9月1日2025年の梅雨の時期について確定値を発表しました。関東地方については速報値より梅雨入りが19日、

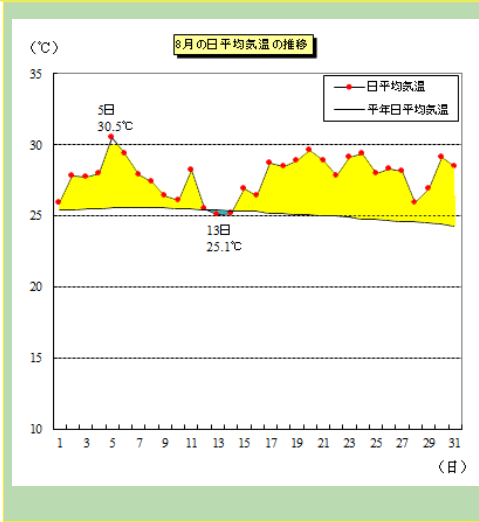
ある町の天気相談所

Vol.93 2025.09.05

令和7年9月号

一ヶ月予報（気象庁発表）

天気は数日の周期で変わりますが、はじめ平年に比べ曇りや雨の日が少ない見込みで、平均気温は「高い」、降水量は「少ない」、日照時間は、「多い」となる見込みです。



8月の気候

8月は、高気圧に覆われる時と前線が南下してくる時が周期的にあり、気温が高く、大気的不安定な日が多くなりました。8月の月平均気温は27・7度とかなり高く、8月として2番目に高い気温となりました。最高気温の平均は8月として最も高くなりました。月合計降水量は139・5ミリと平年の115パーセントと多く、月合計日照時間は218時間と平年より多くなりました。

暑さはいつまで

過去の記録から暑さがいつまで続いたことがあるかみてみましょう。猛暑日 最高気温が35℃以上の日ですが、最も遅く観測した記録は、9月7日（2010年）でした。真夏日 最高気温が30℃以上の日ですが、最も遅く観測したのは、10月12日（1999年と2013年）でした。夏日 最高気温が25℃以上の日ですが、最も遅く観測したのは、12月5日（2004年）でした。9月に猛暑日を観測したのは過去に3回だけです。真夏日を観測した日数は多く、一昨年と昨年は10日を超えました。10月になると真夏日の日数もかなり減ってきます。9月にかけては30℃を超える日がまだ多くあります。

気象庁が8月19日に発表した、関東甲信地方の3か月予報によりますと、9月は数日の周期で天気は変わり、気温は高い。10月は、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線、湿った空気の影響を受けすいため、平年に比べ晴れの日が少ないですが、気温は高い見込み。11月は、平年と同様に晴れの日が多く、気温は平年並みか高いと予想されています。10月にかけては平年よりも気温が高い状態が続く見込みです。

天気用語の基礎知識

警戒レベル レベル2

警戒レベル2は気象庁が発表する、大雨注意報、洪水注意報、高潮注意報（警報に切り替える可能性が言及されていないもの）が該当している。また、危険度分布（キキクル）において、注意を表す黄色い地点や指定河川洪水予報の氾濫注意情報が出されているところは、レベル2に相当している。レベル2の段階では、避難行動の確認が必要とされ、ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認することが求められる。

・・・神峰の山から・・・

通勤途中のラジオで、今日（8月28日）は気象予報士の日ですと聞いて、そのような日があるのかと調べてみました。1994年の8月28日に第1回の気象予報士試験が行われたことによるそうです。なお、日立市天気相談所では1名がこの試験で合格しています。最初の年は年3回行われた気象予報士試験ですが、現在は年2回、8月と1月の最終日曜日に全国6つの会場で行われています。筆者は何回も試験を受けに行ったので、交通費と受験料が結構かかったのを思い出していました。

この日は筆者も使用しているワープロソフトの誕生日でもありました。